

屋中だより



令和5年12月19日No.10

千曲市立屋代中学校

学校長 柳澤 正寿

(文責) 沖 美鈴

<http://www.chikuma-ngn.ed.jp/~yashirojh/>

＊「屋中だより」の内容は、屋代中学校ホームページでご覧いただけます。(千曲市教育委員会⇒小中学校一覧⇒屋代中学校)

全国学力・学習状況調査からみられる成果と課題

3年生が4月18日に行った「全国学力・学習状況調査」の屋代中学校の結果について、お知らせします。

1 国語

(1) 結果概要

○本校の国語の平均正答率は、全国および長野県の平均正答率と同程度でした。

領域別に見ると、「話すこと・聞くこと」は、相当数の生徒が正答しています。「書くこと」「読むこと」は、平均正答率が50%を上回っていますが課題があります。

(2) 成果の見られた問題の概況と結果

日常的な授業の場面で、自分の考えを発表したり意見交換をしたりする活動を取り入れたり、毎学期、スピーチの単元を設定し、プレゼンテーションを行ったりする機会を設けてきたことで、文章の構成に着目し、適切なものを選んだり、自分の考えをまとめて書く力がついてきています。

(3) 授業改善のポイント

- ① 毎時間の小テストや家庭学習の内容を工夫し、漢字の読み書きや古典の歴史的仮名遣いなどが確実に定着するように指導していきます。
- ② 日頃から、優れた文章に親しませながら、文章を比較して自分の考えをまとめたり、一度書いた文章を推敲し、より良い文章にするために構成を見直したりする力を高められるよう、書く活動と表現活動を効果的に取り入れていきます。

2 数学

(1) 結果概要

○本校の数学の平均正答率は、全国の平均正答率をやや下回り、長野県の平均正答率と同程度でした。

領域別に見ると、「数と式」「関数」は、50%を上回っていますが課題があります。「データの活用」は、50%を下回り課題があります。「図形」は40%を下回り、課題があります。

(2) 成果の見られた問題の概況と結果

「関数」については、1年次から、常に、「ことば」「式」「表」「グラフ」を関連付けて考えるよう、繰り返し指導を重ねてきたことにより、1つの事象や問題を文章だけでなくグラフから読み取ったり、表を用いて表したりするなど、自ら方法を選択し、適切な方法を用いて問題を解く力が高まってきています。

(3) 授業改善のポイント

- ① 絵や図、線分図等など、視覚的に理解を促す教材を用いることにより、数や文字を実生活に即した量的感覚で読み取ったり、扱ったりする力を高めていきます。

- ② 証明の問題では、多種多様な問題に取り組ませ、多角的に考える機会を設けることにより、結論となる事柄を示すために、どのような証明をすれば良いかをイメージし、その証明をするためにどのような根拠を示せば良いか筋道を立て、論理的に説明できる力を高めていきます。

3 英語

(1) 結果概要

- 本校の英語の平均正答率は、全国の平均正答率と同程度で、長野県の平均正答率をやや上回りました。
領域別に見ると、「聞くこと」「読むこと」は、平均正答率が50%を上回っていますが課題があります。
「書くこと」「話すこと」は、平均正答率が40%を下回り、課題があります。

(2) 成果の見られた問題の概況と結果

授業で教科書などのまとめた英文を読む際に、全体を和訳するのではなく、要点をつかみ取ってまとめる活動を継続して行ってきたことにより、名詞や動詞を中心としたキーワードとなる語句を手掛かりに、必要な情報や要点を的確にとらえる力が高まっています。また、既習表現を用いて書いたり、話したりする表現活動を単元のまとめとして行ったり、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する場面を設けたりしたことで、問題全体の無回答率が全国や長野県を大きく下回っており、自分の考えを表出しようという意欲の高まりが見られます。

(3) 授業改善のポイント

- ① Classroom English を積極的に用いることで、日頃から英語を聞く機会を増やすとともに、生徒同士の対話活動の機会を増やし、相手の意図や気持ちを意識的に考えながら対話する場面を増やしていきます。
- ② 与えられたテーマにそってまとまりある英文を書く機会を設け、その際に、語数指定や必ず書くべき条件を設け、その条件に沿った英文を書く経験ができる場を増やしていきます。また、家庭学習やスペリングコンテスト、英作文などの添削を生徒にフィードバックすることなどを通じて、正確な文法や単語、表現を身につけ、書く力の向上を目指していきます。

4 生活に関する質問に関して

(1) 良い点

- ・「いじめはどんなことがあってもいけないと思うか」「人の役に立つ人間になりたいか」などの質問に関しては、ほとんどの人が肯定の回答をしています。
- ・「学校に行くのは楽しいか」「友達関係に満足しているか」「先生はあなたの良いところを認めてくれると思うか」「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思うか」「朝食を毎日食べているか」「新聞を読んでいるか」「今住んでいる地域の行事に参加しているか」「日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思うか」などの質問に関しては、**県および全国平均を上回っています**。

(2) 課題の見られる点

- ・「学校の授業時間以外に、普段どれだけ学習しているか」という質問に関しては、「**1時間未満**」と答えた人が約**25%**います。
 - ・「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」という質問に関しては、「**10分より少ない**」「**全くしていない**」と答えた人が、約**60%**います。
- 家庭での時間の使い方について、この機にお子さんと話し合ってみてください。

(学力向上推進部)